

残堀川の流路変遷と立川断層

Changes in the flow path of the Zanbori River and the Tachikawa fault

*秋野 一樹¹、*土井 郁子¹、*百瀬 ことみ¹

*AKINO KAZUKI¹, *IKUKO DOI¹, *KOTOMI momose¹

1. 都立立川高校

1. Metropolitan Tachikawa High School

はじめに

残堀川は本校近くを流れる川である。また立川断層は本校近くを通るとされている。(図1)我々は残堀川の流路が人工的に何度も変えられていることや、立川断層とされる崖線に沿って流れていることを知り、興味を持ったため、残堀川の流路がどのように変わったのか、また、残堀川と立川断層にはどのような関係があるのか探ることにした。

先行研究

立川断層について、松田・羽田野(1975)は空中写真判読から直線的に続く崖線を発見した。さらに崖線沿いの現地調査によって段丘礫層の変位を見出し、これを断層であると推定し立川断層と名付けた。山崎(1978)はその後、テフラを用いて崖線の左右で同じ時代の地層の高さが違うことから、立川断層の存在は確かであると考えた。その後、2012年に東京大学地震研究所が日産自動車工場跡

キーワード：断層、流路、段丘

Keywords: Fault, channel, terraces

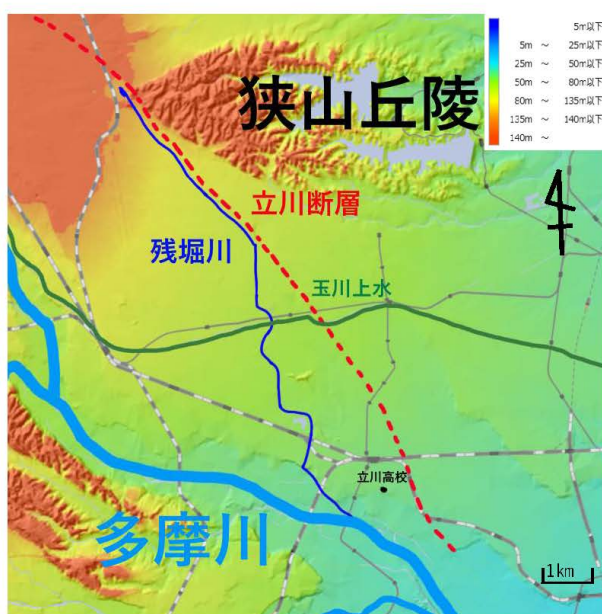


図1：全体図(地理院地図に加筆)



図2：立体図：地理院地図から作成(倍率80倍)
図4：D地点の緩やかな坂(筆者撮影)

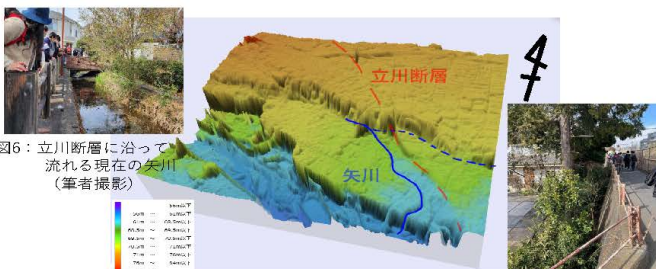


図6：立川断層に沿って流れる現在の矢川(筆者撮影)

図5：立体図 地理院地図から作成(倍率80倍)

図7：段丘と断層の崖の様子(筆者撮影)